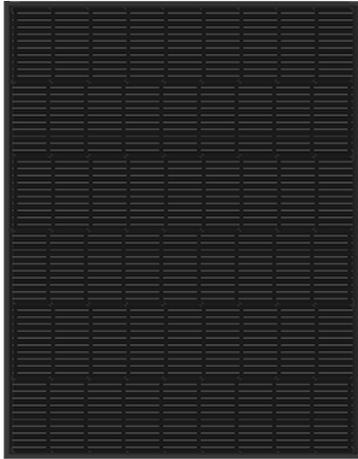


業界最高クラスの高変換率を誇る 太陽電池モジュール [マクサ]®

高出力コンパクトでスタイリッシュなデザイン 住宅向けモジュール



WWB の太陽電池モジュール「Maxar【マクサ】®」は国際共通基準に基づいて開発、設計、製造および販売いたしております。これらの製品は、住宅用をはじめ、産業用案件、大型屋根設置や、メガソーラー大型太陽光発電プロジェクトなど幅広く利用されています。製品の品質を確保するために、当社は原材料の選択と生産工程の管理に十分な努力を重ね、太陽電池モジュールの安定性を保持、過酷な気候の中での耐久性を高めました。それと同時に、すべての太陽発電モジュールは出荷の際に品質テストを再度行い品質を維持しております。より安定、より高効率、より低コストの太陽電池のモジュールの提供は当社の目標です。



NEW WS-205M-182H54Y

※1 公称最大出力の数値は、JIS C8918で規定するAM1.5、放射照度1,000W/m²、モジュール温度25℃での値です。
 ※2 モジュール実効変換効率(%)= 最大出力を太陽電池セル・モジュール前面積と放射照度との積で除した値。<JIS C8961 基準>
 ※3 セル実効変換効率(%)= モジュールの公称最大出力(W) ÷ {1セルの全面積(m²) × 1モジュールのセル数(個) × 放射照度(W/m²)}
 ※放射照度=1000W/m²<平成24年度、J-PEC 基準>

製品特長

- 日本の狭小屋根を考慮した小型モジュール。
- 通常の横置き配置だけでなく縦置き配置も可能で自在なレイアウトが可能。
- オールブラックのデザインで見た目も非常に綺麗です。
- モジュールの許容量は+3%の低電力以内におさめております。
- バイパスダイオードを太陽電池モジュールに取り付け、ホットスポットによりモジュールの損傷を避けます。
- JIS C 8990 規定の機械荷重条件 正圧 5400Pa、負圧 2400Pa。
- 陽極酸化アルミニウム合金のフレームは強度が高く、厳しい自然条件に耐えられます。

品質保証

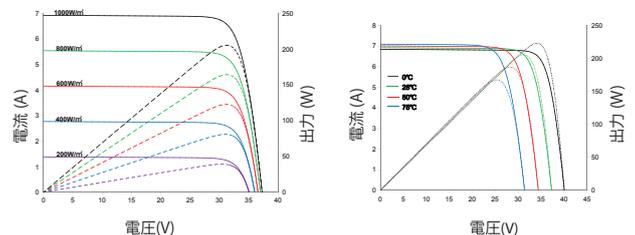
- 12年品質保証
- 25年間リニア出力保証

* 初年度の減衰率は2.0%以内、2年目から毎年の平均減衰率は0.55%以内です。25年目での実際出力値は出力レベルの84.8%を下回らないことを保証します。

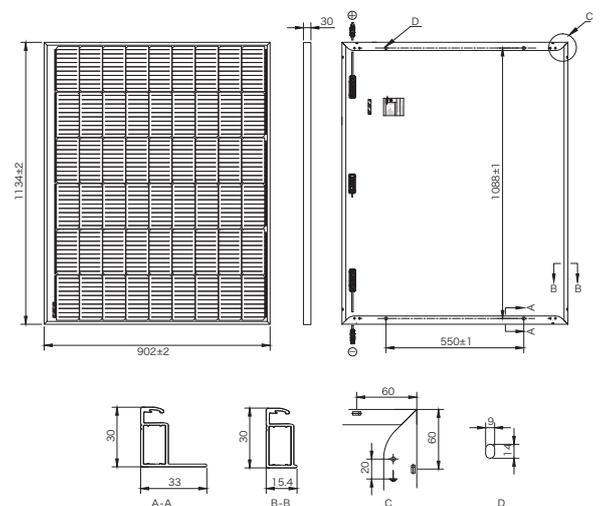
太陽電池モジュール仕様

型名	WS-205M-182H54Y	NEW
最大出力電力[Pmpp]	205	
公称開放電圧[Voc]	37.29	
公称短絡電流[IsC]	6.92	
最大出力電圧[Vmpp]	31.59	
最大出力電流[Impp]	6.49	
実効変換率[JIS基準]	20.04%	
最大システム電圧[V]	1500	
電圧温度係数	-0.26%/℃	
電流温度係数	+0.05%/℃	
電力温度係数	-0.34%/℃	
ヒューズ容量[A]	15	
セル	単結晶54枚(6×9/182mm×91mm)	
ジャンクションボックス	IP68	
ケーブル	長さ1200mm、断面1×4mm ² 、	
ガラス	厚さ3.2mm、高透過率、ARC強化ガラス	
電池封止	EVA	
バックシート	ソーラーモジュール用バックシート	
フレーム	アルマイト処理アルミニウム合金	
外形寸法	1134×902×30mm	
質量	10.9kg	

IV 特性データ



寸法図 単位:mm



●Maxar【マクサ】®とは、max.(=maximum 最大) / mass(集まり) / exa(エクサ=10の18乗 T:テラの上の位)の掛け合わせた造語で、限りなく太陽光を集積し最大限の変換率を誇るという意味で表現しています。●Maxar【マクサ】は、WWB 株式会社登録商標です。